

ホンダは'83年12月にREV技術搭載のCBR400Fで新しい4気筒をアピールし、翌'84年にはレーシーな2灯式ヘッドライト&ハーフカウル装備のCBR400Fエ  
ンデュランスを発売。さらに'85年にはCBR400Fをマイナーチェンジ。アンダーカウルを省略し、REVの設定を変更。美しいステンレス管1本集合マフラー、  
新デザインの3本スポーク式キャストホイール、アルミスイングアームの新採用などで計2Kgの軽量化を実現。さらにエンデュランスをベースとしたTT-F3  
レーサーイメーজのCBR400F フォーミュラ3（乗車定員1名）を追加……と、派生モデルも充実させた

**HONDA®**

新登場 **CBR400F**  
**ENDURANCE**

ザ・ス・パ・ル・タ・ン・エ・ン・デ・ュ・ラ・ン・サ・ー



# REAL ENDURANCE

REV.インラインフォア、エアロフォルム、デュアルヘッドライト…いま誕生、リアル・エンデュランス・パフォーマンス。



11-2013/4/20  
ライダー・チーム・CBR400F 国際A級世界選手権

世界初のREV.インラインフォアを搭載し、スーパーレースシーンを革新したCBR400F。そのREV.パフォーマンスをさらに高次元に発揮するスーパータン・マシン。その名もCBR400F ENDURANCE。「エンデュランス」の名がしめすように耐久性、ライディングしやすさなど、T-T-道仕様車をはじめ耐久ロードレースで得られる数かずのノウハウを導入し、すぐれたトータルパフォーマンスを実現しました。ライダーへのwind protectionにすぐれ、しかも空気抵抗の少ないフェアリング、さらに空力特性を高めたアンダーカウル、格闘なデュアルヘッドライトなど、そのシルエットもまさにスーパータン。また堅牢でしかも軽量の角型断面フレーム、最新装備で固めた足まわりなど先鋭装備の数かずは、走るほどにタフネスが際立ちます。CBR400F ENDURANCE“走り”のために鍛えぬかれたパフォーマンスは、まさにリアル・エンデュランス。

## ホンダ耐久レーサーの空力テクノロジーを 結集したエアロフォルム。

真のエンデュランスのフォルムは、マシンの空力特性の追求のみならず、ライダーへのwind protectionも重要な

要件となります。CBR400F ENDURANCEのエアロフォルムは、経典の耐久ロードレースで磨きをかけたエアロダイナミクステクノロジーの数かずを導入。そのフェアリング設計は、ライダーをすっぽり包みこむように左右の張りだしを太くしています。そのため長時間ライディングにおけるライダーの疲労を軽減させるすぐれたwind protection効果を実現。ライダーの顔面に当たる空気は頭上へ、ボディへの空気はサイドへ、足元の風は後方へと絶妙に整流。標準装備されたアンダーカウルは、エンジン部にあたる風をうまく導きます。しかも空気抵抗を軽減させる空力設計をとっています。つまり、ライダーのwind protectionとマシンの空気抵抗低減を高次元で両立させています。また、デュアルヘッドライト下には、エアインテークが設けられ、オイルクーラーに風をスムーズに導くなど、冷却効果が十分に配慮されています。さらにメーター類はフェアリングマウントによりスプリング慣性マスを軽減し、ハンドリングの負荷も追求しています。



## ハイパワーと強力な低・中速トルクを見事に両立。 4サイクル4バルブエンジンを革新したREV.搭載。

エンジン回転数に応じて作動バルブ数が変化する画期的なバルブシステムを搭載したREV.インラインフォア。高回転域では、4バルブが作動。低・中回転域では一気筒あたり、インレット側/エキゾースト側とひとつずつのバルブが作動を休止し、2バルブ作動となります。このバルブシステムを可能にしたのが、2分割ロッカーアーム、油圧ピストンを内蔵したハイメカニズムが、4バルブ作動→2バルブ作動をスムーズに切り替えます。4バルブ作動時は高回転・高出力にマッチした高速型カムが威力を発揮。一方2バルブ作動時には混合気の吹き抜けが少なく、流速も向上。高いカム効果とすぐれた走らん・燃焼効率を実現。58PS/12,300rpm



は混合気の吹き抜けが少なく、流速も向上。高いカム効果とすぐれた走らん・燃焼効率を実現。58PS/12,300rpm

のハイパワー、しかも低・中速域での強力なトルクをも両立させています。さらにREV.システムの効果を最大限に生かすため、吸・排気システムをベストセッティング。吸気系では、レゾナンスチャンバーの採用により、エアクリーナー容積を増大させたうえで、流入空気を整流し吸入効率を向上。排気系は4→2→1→2の新しい4バルブレイアウトが効果的な排気駆動をつくりだしています。低・中回転域からフラットなカーブで持続する力強いパワー、力みなぎる高速の伸び、そして加速感。“エンデュランス”の名にふさわしい戦いのすぐREV.パフォーマンスを発揮します。



## “エンデュランス”を追求したフレーム設計。 堅牢性、耐久性を誇る軽量・角型断面ダブルクレードル。

レーサーイメージを彷彿とさせる特長の角型断面パイプ製のダブルクレードルフレーム。ホンダ独自のコンピュータ解析(CAE) (Computer Aided Engineering) により、さまざまな条件下での強度・剛性・応力などを解析。十分な堅牢性、耐久性をもたせるとともに、合理的に軽量化が図られています。強力なエンジンパフォーマンスをしっかりと支えるフレームボディ。その強じんさが、CBR400F ENDURANCEの設計思想を物語ります。



## エンデュランサー・イメージみなぎる先鋭の装備類。

- エンデュランサー・フォーリング。鋼をシャープに切り抜く大重量デュアル・ロゲンヘッドライト(35W/35W×2)。
- フェアリング一体型のウインカー&固定式ウー。
- 軽量・高剛性、ブラックアルマイト加工のNSコマスターホイール。
- マイクロイド・パターン・フラットディスクを、(前)ダブル、(後)



- シングル・ダブル装備。
- 充実したブレーキシステム。先進のデュアルピストンキャリパー。
- コンパクトになった、ニューTRACIブレーキリンクに専用アンチダイブ機構。
- よりブレーキイメージやライトメッキがはじかれたサイレンサー。
- 軽快な操縦性、高いコーナリング性能を実現する、フロント・36インチホイール。
- スプリングマスを軽減させるフェアリングマウントのフェルメーター付メーターパネル。
- 軽・高剛性。アルミ合金と鋼管で構成されたセノレートタイプのハンドル。



新登場 **CBR400F**

# FORMULA-3

TUNED-UP WITH CIRCUIT SPIRIT

**HONDA**<sup>®</sup>

